



平成 19 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ミスターマックス
代表社名 代表取締役社長 平野 能章
(コード番号 8203 東証第一部、福証)
問合せ先 取締役経理本部長 中野 英一
(TEL 092-623-1141)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 1 月 25 日に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）
(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	93,180	1,490	840
今回修正予想 (B)	93,267	1,327	206
増減額 (B - A)	87	△ 163	△ 634
増減率 (%)	0.1	△ 10.9	△ 75.5
(ご参考) 前期実績	86,759	936	312

2. 平成 19 年 3 月期の業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）
(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	90,630	1,470	830
今回修正予想 (B)	90,788	1,323	110
増減額 (B - A)	158	△ 147	△ 720
増減率 (%)	0.2	△ 10.0	△ 86.7
(ご参考) 前期実績	84,130	896	286

3. 修正の理由

(当社単独決算)

平成 19 年 3 月期におきましては、既存店売上高が前期比 100.5%と前年を上回った他、昨年 6 月に開店した湘南藤沢店の売上高が寄与したことなどから、営業収益は前期比 7.9%の増収となり、経常利益も前期比 47.6%の増益となる見込であります。しかしながら、前回発表時の予想に比べ、荒利益率が伸び悩み、販売費及び一般管理費が増加したことなどから、経常利益は前回発表時の予想を 10.0%下回る見込であります。また、固定資産の減損損失など特別損失の計上により、当期純利益も前回発表時の予想を 86.7%下回る見込となりました。

(連結決算)

当社単独の業績予想の修正に伴い、連結の業績予想につきましても併せて修正いたします。

4. 特別損失の計上

期末決算に伴い、土地や建物を賃借している店舗の固定資産の評価を保守的に見積もったことなどから、固定資産の減損損失 963 百万円を計上することに致しました。また、当社単独決算において関連会社株式評価損 97 百万円を計上いたします。

尚、今回計上する固定資産の減損損失 963 百万円のうち 955 百万円は減価償却対象資産であり、将来に渡り減価償却費が減少いたします。うち平成 20 年 3 月期における減価償却費の減少額を 91 百万円と見積もっております。

(注) 本資料における業績予想は、当社の本資料発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって本資料記載の業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上